

具体的な進展を協議 ―第二回総会開く―

新津・五泉両市県立普通高

校誘致期成同盟の第二回総会は、去る十一日、新津郷土地改良区会議室を会場に、正副会長（両市長）をはじめ、役員、関係者七十名が出席してひらかれました。

会長（志田市長）あいさつ

会以降の経過報告（別掲）と質疑が行われ、引きつづき高校誘致の今後の進展をはかるための今後の運動の進め方について真剣な協議が続きました。

協議内容の主なものを要約すると次のとおりですが、今後の運動実施に当たっては、市民各位の積極的な協力をお願いします。

★陳情について、役員が努力していることは判るが、同じメンバーでくりかえすより、期成同盟の構成団体に別し順次継続的に実施することも効果があると思われるので、その方向で事務局が計画してゆく。

★両市が統合、一体化してからPR不足の感があるの



出県して陳情する佐藤五泉市長と志田市長

で、今後広報活動を強化してゆく。

★高校新設のメドはいつ頃かの予測は難しいが、県側が独立した分校の整備（新潟学区内の高校新設（五十三、四年



11月11日に開かれた期成同盟総会

ところから、早くても五十五年頃になるのではないかとと思われる。（県議の情報並びに陳情結果からの見通し）

★両市は、有力な三県議を擁しているのので、一層の協力を得て誘致実現を期待する。

★今後も誘致運動は、既定方針どおりすすめていく。

★地元の熱意を表わす意味からも、用地取得をして強力に運動すべきではないか、との意見もあるが、県は全県的な視野に立って高校配置を考えており、用地を取得してあるからといってそれに左右されることはない、との方針を打出しているのので、諸情勢を判断し、両市間で慎重に努めてゆきたい。

市民要望の実現に くり返し陳情・請願 ―経過報告から―

新津・五泉両市の人口、十

とりのなから二十回におよぶ連絡打合わせや、資料・情報の収集、広告塔の設置や広報紙によるPR、県への陳情・請願などを重ねてきましたが、対外的な主な運動経過は、次

のとおりです。

（五十一年十一月十七日）

役員会（理事会）開催、会議終了後、二十三名が出県して知事、教育長に陳情

（五十一年二月四日）

県議会議長あて普通高校新設についての請願書を提出する（県議会の申し合わせにより、高校誘致の請願は、すべて継続審議の扱いとなる）

（同五月四日）

両市選出の県会議員三名と高校誘致および学区問題について情報交換。この結果、既定方針どおり運動することを確認。なお、県教育委員会では、検討委員会が総合選抜制と、学区問題について検討、作業を継続中

（同六月十一日）

正・副会長が出県。新津・五泉学区を分割変更しないよう、県教育委員会に陳情

（同八月十日）

役員会（理事会）開催。用地問題その他について検討

（同十一月一日）

正・副会長懇談、協議

（同十一月十一日）

総会開く。